

内容をご熟読ください

Owner's Guide
取扱説明書



HORNET®
Auto Security Systems

VIII

KATO-DENKI has provided HORNET® Auto Security customers with first class security since 1993.
Although car crimes will always exist, rest easier knowing you're protected.

PUT THE STING ON CRIME

728VIII

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

この度はホーネットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願い致します。

本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2025年9月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® コードホッピング® SAN フラワー® は加藤電機株式会社の登録商標です。
KATO-DENKI ドアトリガー® クリックトーン® ダイアグノスティック™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	5
製品の説明	7
製品の説明	7
HORNET (ホーネット)とは	7
本書に出てくる主な用語の解説	7
梱包物をご確認ください	8
728VIIIの梱包物	8
基本的な操作の仕方	9
リモコンのボタンについて	9
ホーネットを作動させる	10
ホーネットを解除する	10
クリックトーン®消音機能	11
パニックモード (強制サイレン)	12
ハイセキュリティ解除	13
コンビニモード™	14
操作方法・確認音一覧	15
リモコンの電池の交換方法	16
強制解除	17
ダイアグノスティック™ 機能	18
各センサーの特長	19
インスタントトリガー【ゾーン1】	19
2段階衝撃センサー (マイクロショックセンサー)【ゾーン2】	19
ドアトリガー®【ゾーン3】	19
イグニッションONセンサー【ゾーン5】	20
センサーについて	21
2段階衝撃センサーについて	21
NR-Aノイズリダクション™ 機能	21
2段階衝撃センサーの感度調整方法	22

機能設定	24
機能設定項目について.....	24
機能設定手順.....	26
その他の機能・特長	27
デジタルリモコン(2個標準).....	27
コードホッピング®(リモコンIDコード盗難防止機能).....	27
シングルトーンサイレン.....	27
ソフトチャープ.....	27
クリックトーン® ON/OFF.....	28
ライトフラッシュ.....	28
警告設定 警告音/ライトフラッシュ.....	29
エンジンスターターとの併用.....	29
NPC機能(迷惑防止回路).....	30
SANフラワー見守りサービス(位置検索機能/オプション)対応について.....	31
トラブルシュート	33
故障かな?と思ったら.....	33
アフターサービスについて	34
アフターサービスについて.....	34
セキュリティラウンジあんしんサポートについて.....	34
保証書について.....	34
修理を依頼されるときは.....	34
お問い合わせ先・製品仕様	35
保証規定	36

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

警告

- エンジンルーム内にサイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- リモコンはお子様手の届かないところに保管してください。
- システムをOFFしてしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行うと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を起動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



危険

- DC12V車両専用
24V車両には装着できません。



使用上の注意

(1) リモコンの取り扱いに関する注意

注意

- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気が多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコンの電池が消耗した場合、リモコンの効きが悪くなってきます。
早めに電池交換をしてください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換等は一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。
- 電波塔が近くにあるなどの電波障害がある環境の場合、リモコンの飛距離が著しく短くなる場合があります。



お取り扱い上の注意

警告

- 本製品は電波法に基づく特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解及び改造変更は絶対に行わないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は日本国内専用であり、外国では使用できません。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.



(2) 使用方法についての注意

注意

- 本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告、警報は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンによりサイレンを止めてください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。



必ずお読みください

- 国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行っておりません。
- 本製品内蔵の2段階衝撃センサーは取り付けの位置や車両の剛性等によって感度が大きく変わります。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
- 車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品の説明

HORNET（ホーネット）とは

HORNET は、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせる、盗難発生警報装置（カーセキュリティシステム）です。各種センサーにより車上荒しを効果的に抑制します。

また、別売の各種オプションと組み合わせることで防犯性、利便性をさらに拡張し、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

本書に出てくる主な用語の解説

警告／警報

HORNET が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

警告：

警告音 : サイレンから「ピッピッピッ・・・」と鳴ります。

ライトフラッシュ機能 : ターンランプもしくはスモールライトが2回点滅します。

警報：

警報音 : サイレンから「ピーッピーッピーッ・・・」と30秒間鳴ります。

ライトフラッシュ機能 : ターンランプもしくはスモールライトが30秒間点滅します。

ヒント

ライトフラッシュ機能は、オプションです。詳しくはP.28をご参照ください。

確認音

HORNET の各操作を行うたびに鳴るサイレンからの音を示します。また、システムのON(作動)／OFF(解除)時に鳴る確認音をとくにクリックトーン(動作確認音)と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

梱包物をご確認ください

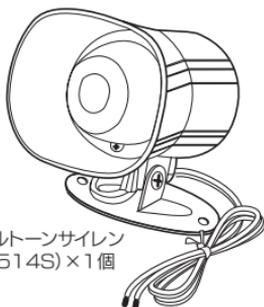
728VIIIの梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



メインユニット×1台



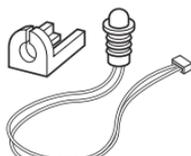
専用リモコン×2個



シングルトーンサイレン
(型式:514S)×1個



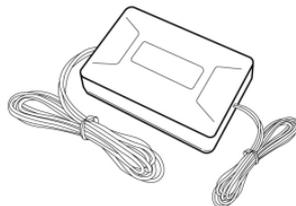
アンテナ×1個



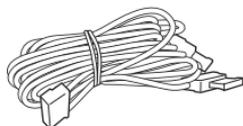
動作確認LED×1個
LEDホルダー×1個



アンテナハーネス×1本



ダブルポイントループセンサー
(型式:502V)×1個



メインハーネス×1束



強制解除スイッチ×1個

- 取扱説明書×1冊
- 取付説明書×1冊
- ホーネットステッカー×1シート
- 取付部材一式
- 確認チェックシート×1枚
- 全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。

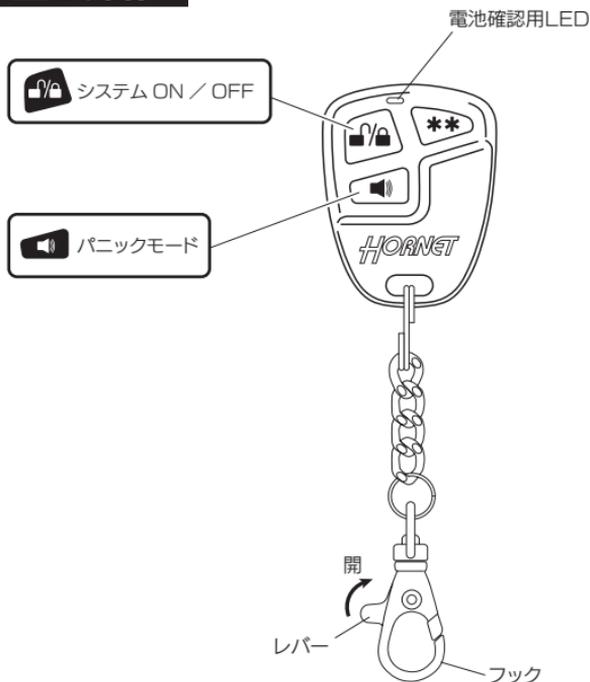
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内に
おさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。

※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

基本的な操作の仕方

リモコンのボタンについて

主な操作



その他の操作

-  →  消音機能(システムON/OFF)
-  +  チャンネル3出力
-  →  コンビニモード

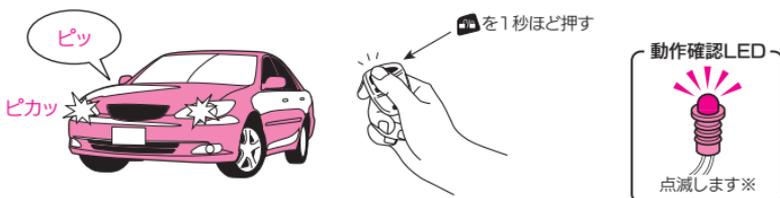
注意

リモコンの電池は機能のテストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので、無償交換等は一切致しておりません。電池が消耗している場合には、新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

基本的な操作の仕方

ホーネットを作動させる

- 1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押します。
- 3 “ピッ” と1回クリックトーンが鳴ってシステムが ON になったことを知らせます。



※システム作動中には、動作確認 LED が点滅を続けます。

※ ON にした際にクリックトーンが1回鳴った後、3秒後に再度鳴った場合には、システムを ON にした時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン (P.18) は動作確認 LED で確認してください。

ホーネットを解除する

- 1 システムが ON で警報が鳴っていないときに、リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押します。
- 2 クリックトーンが2回“ピッピッ”と鳴ってシステムが OFF になったことを知らせます。



※ディスアーム時にクリックトーンが4回または5回鳴った場合には、システムが ON の間に何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン (P.18) は動作確認 LED で確認してください。

ヒント

機能設定 (P.24 参照) でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステム ON/OFF 時の確認音を鳴らなくすることができます。

クリックトーン®消音機能

システムの ON/OFF 時に、一時的にクリックトーンを消音することができます。
夜間にご使用の場合など、システムの ON / OFF の音を周囲に気付かれたくない時に便利な機能です。

- 1** リモコンの **▶▶** ボタンを1秒ほど押します。

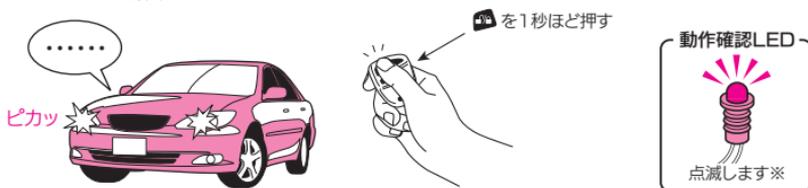


——5秒以内に次の操作を行ってください。

- 2** リモコンの **▶** ボタンを1秒ほど押します。

- 3** クリックトーンが鳴らずにシステムが ON (または OFF) になります。

< ON にした場合 >



⚠ 注意

機能設定 (P.24 参照) にてクリックトーンを OFF に設定した場合にはこの消音機能に関わらずクリックトーンは鳴りません。

パニックモード (強制サイレン)

リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。
緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。

1 リモコンの  ボタンを 1.5 秒以上押し続けます。

2 警報が鳴ります。



—パニックモード—

機能設定項目 2 のサイレンタイムで設定した秒数鳴ります。(P.24 参照)

3 警報が鳴っている最中にリモコンの  ボタンを再度押すと、警報が止まります。



警報が止まります。



ハイセキュリティ解除

警報が鳴っている最中にシステムを OFF にせずに、警報のみを止めることができます。システムが OFF 状態にならないため、システムを再度 ON にする必要がありません。

1 警報開始

システムが ON の時にセンサーが働くと警報が鳴り始めます。



2 ハイセキュリティ解除

警報中に  ボタンを押すと警報のみが止まりシステムは引き続き警戒を続けます。



※何らかのセンサーが反応し、警報が鳴り始めると、動作確認 LED は反応したゾーンを示し始めます (P.18) が、ハイセキュリティ解除を行うとメモリはリセットされ、通常の点滅に戻ります。

基本的な操作の仕方

コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で内蔵の2段階衝撃センサーを一時的にスリープ状態にできます。環境に応じてセンサーを働かせたくない場合に便利な機能です。

- 1** リモコンの  ボタンを1秒ほど押しシステムをONにします。



——5秒以内に次の操作を行ってください。

- 2** リモコンの  ボタンを1回押します。



- 3** 確認音“ピッピッピッ”が鳴り、内蔵の2段階衝撃センサーが働かなくなります。

※クリックトーン消音機能を使用した場合でもコンビニモードの設定音は消音できません。

- 4** コンビニモードは、システムをOFFにすると同時に解除されます。

ヒント

- コンビニモード設定後は、メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーはスリープ状態になりますが、その他のセンサーは作動しています。
- 機能設定(P.24参照)でクリックトーンを「OFF」に設定してある場合でも、コンビニモードの設定音は消音できません。
- 機能設定(P.24参照)により警告をライトフラッシュに設定している場合は約2秒間ライトフラッシュします。

操作方法・確認音一覧

機能	リモコン操作	確認音	ライトフラッシュ
システム ON		「ピッ」	1回
システム OFF		「ピッピッ」	2回
システム OFF (発報後)		「ピッピッピッピッ」	3回
コンビニモード™		「ピッピッピッ」※	——※
消音機能		——	システム ON 時：1回 システム OFF 時：2回
パニックモード(強制発報)		「ピーピーピー……」	点滅
警告	——	「ピッピッピッピッ……」	2回
警報	——	「ピーピーピー……」	点滅

※機能設定項目8のコンビニモードをライトフラッシュ出力にしている場合は確認音は鳴らず、ライトフラッシュが約2秒間点灯します。

リモコンの電池の交換方法

リモコンの電池が消耗してきた場合電池を交換してください。
対応する電池は「CR2032」型のボタン電池です。



注意

- 交換の前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した、乾いた手でお取り扱いください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。

強制解除

何らかの理由でリモコンでシステムを解除できなくなってしまった場合、システムを強制的に解除することができます。

1 イグニッションキーをONにします。
 —— 5秒以内に次の操作を行ってください。



2 強制解除スイッチを1回（0.5秒ほど）押します。



3 1秒～2秒ほどでシステムがOFFになります。



ヒント

- 操作を途中で間違えた場合は、最初からやり直してください。
- 強制解除を行った場合は、ダイアグノスティック™機能はリセットします。

基本的な操作の仕方

ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED やクリックトーンによって、センサーが異常を検出して警報した場合にその原因をある程度特定することができます(ダイアグノスティック™ 機能)。

メモリー機能

クリックトーンの回数により、発報の有無などの確認が行えます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行います(センサーレポート機能)。

操作	レポート内容	動作確認音
システム ON	システム ON	ピッ
システム ON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステム ON	ピッ 約2~3秒後 ピッ
システム OFF	システム OFF	ピッピッ
システム OFF	警報が鳴った後にシステム OFF	ピッピッピッピッ
システム OFF	NPC がはたらいた後にシステム OFF	ピッピッピッピッピッ

ゾーンID

システム作動中に警報があった場合や、センサーレポート機能が働いた場合、動作確認 LED の点滅回数が増えます。

動作確認 LED の点滅をみることで、どのゾーンが反応したのかを確認することができます。LED の点滅は、およそ2秒ごとに行われます。

ゾーンID (LEDの点滅回数)	センサーの反応内容
1 (1秒ごと)	警報なし
1 (2秒ごと)	インスタントトリガーが反応
2	内蔵の2段階衝撃センサーが反応
3	ドアトリガーが反応
4	使用しません
5	イグニッション ON センサーが反応



ヒント

ダイアグノスティック™ 機能のリセット

システム OFF 時にエンジンを始動するか、もしくはシステム OFF 後再度システムを ON にすると、同時にダイアグノスティック™ 機能もリセットします。



注意

ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出したセンサーに対してレポートします。警報が鳴ったすべての原因がわかるものではありません。

各センサーの特長

インスタントトリガー【ゾーン1】

トランクが開けられたことを検出し、警報を鳴らして威嚇します。トランクに積載されたものを守るために有効です。

また、ボンネットが開けられたことを検出し、警報を鳴らすこともできます。

※車種により付属のダブルポイントループセンサー(502V) を使用してください。詳しくは取付説明書をご確認ください。

2段階衝撃センサー(マイクロショックセンサー)【ゾーン2】 特許

車体に加えられる衝撃を自動判別して弱い衝撃では警告、強い衝撃では警報を鳴らして威嚇します(リモコンによる独立感度調整)。

風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる「衝撃」や「衝撃波」、「振動」のみを検出します。

お客様のご使用環境に応じて感度調整が行えます。



2段階衝撃センサーの感度調整方法 P.22 参照

ドアトリガー®【ゾーン3】

システム ON 時にドアが開けられたことを確実に検出し、警報を鳴らして威嚇します。



イグニッションONセンサー【ゾーン5】

エンジン始動を感知するセンサーです。

システム ON 中に、エンジンをかけようとするすると警報を鳴らして威嚇します。



ヒント

イグニッションONセンサーを使用する場合、エンジンスターターとの併用はできません (P.29参照)。



2段階衝撃センサーについて

【上手な感度設定の仕方】

●クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。

ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例1：微振動が発生する要素が多くある場合

- ・幹線道路の近くでトラックなどの往來がある
- ・バックファイヤーの激しいクルマが往來する
- ・飛行場などの近く
- ・工事現場や工場の近くなど

警告のみで効果的に威嚇
警告モード 0～5
警報モード 0

例2：犯罪防止のため異常時は必ず警報を鳴らしたい

- ・警報が鳴っても特に問題ない環境

警告と警報で効果的に威嚇
警告モード 8～15
警報モード 3～7

例3：閑静な住宅街であまり警報は鳴らしたくない

- ・周りでは微振動は起きない
- ・強い衝撃では警報を鳴らしたい

警告と警報で効果的に威嚇
警告モード 10～15
警報モード 1～3

⚠ 注意

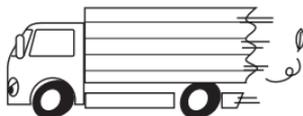
- 機能設定で警告設定を「警告音」にしていない場合、警告は鳴りません(標準「警告音」)。
- 本製品は大音量で警告または警報による威嚇ができます。
- 2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
- 2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのセンサーは独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合に警報が鳴ることを確認してください。
- 2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。

NR-Aノイズリダクション™ 機能

特許

ノイズリダクションの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動に対する警報を大幅にキャンセルできるようになりました。

また、強風などの揺れに反応しないため誤報が大幅に低減されました。



2段階衝撃センサーの感度調整方法

リモコンからの操作で2段階衝撃センサーの感度調整ができます。

- 1 リモコンの  ボタンを 1 秒ほど押してシステムを ON にします。



警告モードの感度調整

警告を鳴らす感度調整のモードです。

警報モードの感度調整

警報を鳴らす感度調整のモードです。

- 2 リモコンの  ボタンを 1 秒以上押してシステムを OFF にします。



- 3 前の操作から 5 秒以内にリモコンの  ボタンを 3 秒以上押すと、感度調整モードに入ります。

確認音“ピーピー”が鳴れば、感度調整モードに入っています。
5 秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。

4 感度を上げる場合（最大 15）

リモコンの **▲** ボタンを押すたびに感度レベルの
確認音 “ピッピ” が鳴って 1 段階ずつ感度が上がります。

最大感度になると確認音 “ピッピ ピーピ” が鳴って知らせてくれます。



5 感度を下げる場合（最小 0）

リモコンの **▼** ボタンを押すたびに感度レベルの
確認音 “ピッ” が鳴って 1 段階ずつ感度が下がります。
最低感度になると確認音 “ピッ ピーピ” が鳴って知らせてくれます。



ヒント

初期設定は警報モード、警告モード共にレベル 3 設定です。

機能設定

機能設定項目について 下線が初期設定

1 クリックトーン® ON/OFF

システムのON時とOFF時の確認音の有/無を選択できます。

2 サイレンタイム 30/5/10/15秒

警報時間を選択できます。

パニックモードの警報時間も同時変更されます。

3 イグニッション入力 センサー/シャント

イグニッションONの入力を異常としてとらえて警報を鳴らすか、エンジンスターターと判断して各センサーをスリープさせるかの選択ができます。

エンジンスターターと併用するときには、「シャント」にしてください。

4 警告設定 警告音/ライトフラッシュ

2段階衝撃センサーやオプションセンサーが反応したときの警告を、警告音/ライトフラッシュから選択できます。

5 ドアトリガー® エラー音 ON/OFF

システムをONにしたときに、ドアが開いていることによって、センサーレポート機能 (P.18) を働かせるかどうかを選択できます。

残照灯の影響などにより、半ドアでない場合でもセンサーレポート機能が働いてしまう場合のみ、OFFにしてください。

6 センサーエラー音 ON/OFF

システムをONにしたときに、特定のセンサー^(※)が反応していることによって、センサーレポート機能 (P.18) を働かせるかどうかを選択できます。

通常環境での使用方法では特に不要ですので、ONのままご利用ください。

※内蔵の2段階衝撃センサー、オプションセンサー

7 NPC機能 ON/OFF

NPC機能 (P.30) のON/OFFを選択できます。

8 コンビニモード 確認音/ライトフラッシュ出力

コンビニモード (P.14) を使用したときの合図を確認音/ライトフラッシュ出力から選択できます。

機能設定項目について 下線が初期設定**9 連続微振動検知 OFF/ON**

連続した微振動が発生した後、続けて強い振動が加わった際の警報のON/OFFが選択できます。

ON : 警報します

OFF : 警報しません

10 青色入力 警報/警告

青色線にてセンサーオプションを使用したときのサイレン鳴動を警告/警報から選択できます。

機能設定手順

1 リモコンの  ボタンを1秒ほど押してシステムをOFFにします。

※すでにシステムがOFFの場合には、一度システムをONにしてからOFFにしてください。

5秒以内に次の操作を行ってください。



2 リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に2秒以上押すたびに確認音が鳴り、設定項目を選択できます。

設定項目を選択したあとに、 ボタン又は  ボタンを押すことで設定内容の選択が行えます。



項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音“ビッ”※1	 ボタン 確認音“ビッビッ”※1
1	クリックトーン	ピーピー <u>ビッ</u>	ON	OFF
2	サイレンタイム	ピーピー <u>ビッビッ</u>	30秒	5 / 10 / 15秒※2
3	イグニッション入力	ピーピー <u>ビッビッビッ</u>	センサー	シャント
4	警告設定	ピーピー <u>ビッビッビッビッ</u>	警告音	ライトフラッシュ
5	ドアトリガーエラー音	ピーピー <u>ビッビッビッビッビッ</u>	ON	OFF
6	センサーエラー音	ピーピー <u>ビッビッビッビッビッビッ</u>	ON	OFF
7	NPC機能	ピーピー <u>ビッビッビッビッビッビッビッ</u>	ON	OFF
8	コンビニモード	ピーピー <u>ビッビッビッビッビッビッビッビッ</u>	確認音	ライトフラッシュ 出力
9	連続微振動検知	ピーピー <u>ビッビッビッビッビッビッビッビッ</u> <u>ビッ</u>	OFF	ON
10	青色入力	ピーピー <u>ビッビッビッビッビッビッビッビッ</u> <u>ビッビッ</u>	警報	警告

※1 動作確認LEDを使用した場合に、 ボタンでは点灯、 ボタンでは点滅して設定状況の確認ができます。

※2 確認音はリモコンの  ボタンを押すたびに5秒=2回、10秒=3回、15秒=4回に変化します。

ヒント

- 各操作は5秒以内に行ってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ビッピー」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

デジタルリモコン (2個標準)

デジタルリモコンのIDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信によって誤作動することがありません。

また、コードホッピング®によりIDコードコピーによる盗難を完全に防ぐことができます。

万一リモコンを紛失、盗難にあっても、以前のリモコンをすべて消去し、新しいリモコンをご購入、登録いただくことも可能ですので、安心してご利用ください。



ヒント

- リモコンのご購入、登録等に関しましては、取り付けを行った販売店へお問い合わせください。
- リモコンは最大で4個まで登録が可能です。
- 電池消耗時には、市販の「CR2032 (1個)」をお買い求めご利用ください。

コードホッピング® (リモコンIDコード盗難防止機能)

一度使ったIDコードは二度と使用しないため、IDコードのコピーによる盗難を完全に防ぐことができます。

シングルトーンサイレン

最大約128dBの大音量で撃退効果は抜群です。



ソフトチャープ

動作確認音や警告などは、警報よりも若干小さい音で行われます。

クリックトーン[®] ON/OFF

システム ON/OFF 時に鳴る確認音を、機能設定によって消音にすることができます。

機能設定 P.24 参照



ライトフラッシュ

システムのON/OFF時、警告時、警報時に車両のスマールライトやターンランプを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。



※車種により別途ライトフラッシュリレー (525T) やソレノイドリレー (451M) が必要になる場合があります。

警告設定 警告音/ライトフラッシュ

2段階衝撃センサーやオプションセンサーが反応したときの警告を音とライトフラッシュから選択できます。

エンジンスターターとの併用

エンジンスターターによりエンジンが作動している最中にも、ドアのこじ開けに対しての警戒を続けることができます。
エンジン作動中ドアトリガー以外のすべてのセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約5秒後に自動復帰します。

※イグニッション ON センサー (P20)とは併用できません。

※必ず機能設定にてイグニッション入力を「シャント」に設定してください。

※ターボタイマーとの併用はできません。

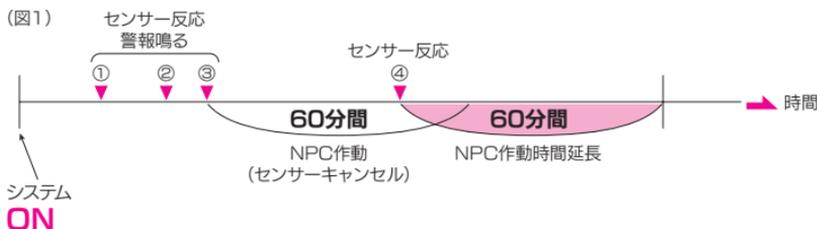


機能設定 P.24参照

NPC機能（迷惑防止回路）

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

NPC ON	NPC OFF
<ul style="list-style-type: none"> ●同じセンサーが1時間以内に3回警報を鳴らした場合、3回目に警報を鳴らした時点から60分間そのセンサーをキャンセルします。 ●NPC作動中、4回目に同じセンサーが反応した場合、その時点からさらに60分間NPC作動時間を延長します。(図1) ●反応したセンサーに関わらず、8回警報が発報した場合、一度システムをOFF/ONしない限り、警報は鳴らなくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じセンサーが反応するたびに警報を鳴らし、威嚇します。



ヒント

NPC 機能は、機能設定で「OFF」にすることができます (P.24)。



ヒント

NPC をリセットするには？

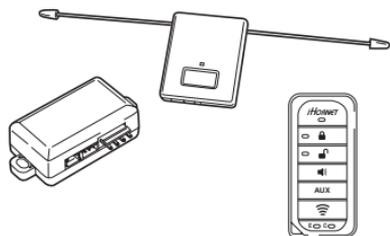
- ①システム OFF 後キーでイグニッションを ON の位置にします (エンジンをかけると自動的にリセットされます)。
- ②システム OFF 後、次にシステム ON した場合には、NPC はリセットされます。

SANフラワー見守りサービス (位置検索機能/オプション) 対応について

本製品は、SANフラワー見守りサービスのネットワークに対応しています。

本製品と iHORNET リモコン/アンテナセット (別売/型式 iH3) を連動することで下記の安心・便利機能をご利用いただけます。

iHORNET リモコン/アンテナセット (別売/型式 iH3)



① iHORNET リモコンへアンサーバック

車両に異常が発生した場合、iHORNET リモコンのLEDとブザー音にてお知らせします。

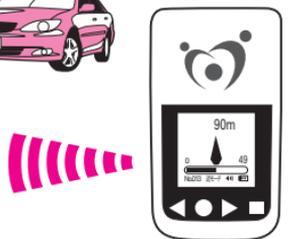
② リモコン操作範囲が大幅にアップ

リモコン操作範囲は市街地で約200～300m※1となります。



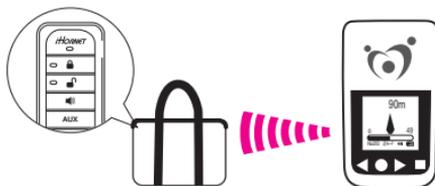
③ 居場所を確認できる

③ -1 iレーダー (別売/iR3) で探す車を探す



iレーダー (別売/iR3)

スマートフォンで履歴 (SAN アンテナ位置) を確認後、iレーダー (別売/iR3) にて方角と距離、ブザー音により車や iHORNET リモコン (リモコンが入った大切な荷物など) まで誘導してくれます。検索範囲は市街地で約200～300mを目安にご利用いただけます。※1



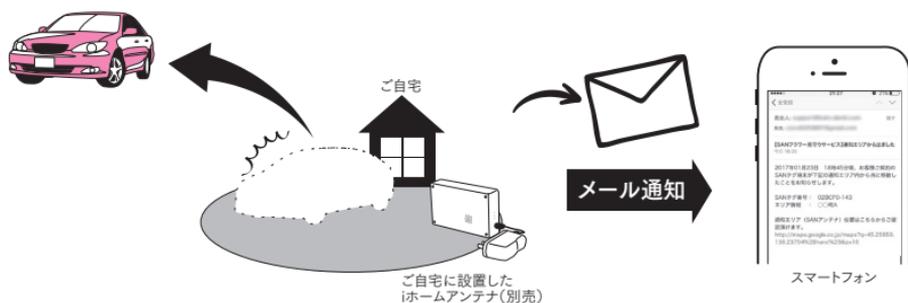
※1: 電波到達距離は、見通し距離です。実際の使用場所や周辺環境によって短くなる場合があります。

SANフラワー見守りサービス (位置検索機能/オプション) 対応について

③-2 iホームアンテナで車の居場所を確認

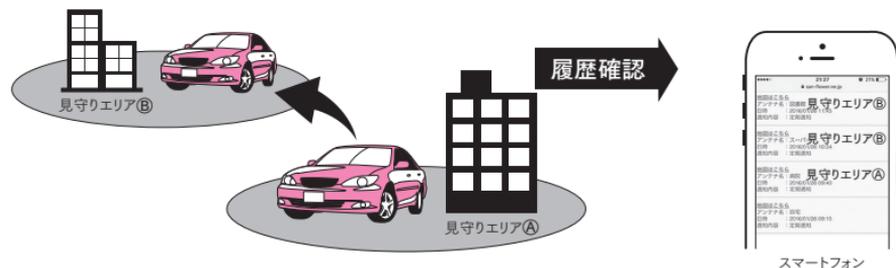


ご自宅などにiホームアンテナ (別売 /iHA3) を設置すれば、ご自宅から愛車が盗まれた際に、メールにて最大5つのアドレスへお知らせします。



③-3 車の居場所をスマートフォンで確認

車が街に設置された SAN フラワー見守りエリアを通過している場合、履歴 (アンテナ位置) をスマートフォンで確認できます。※2



※1: 電波到達距離は、見通し距離です。実際の使用場所や周辺環境によって短くなる場合があります。

※2: セキュリティラウンジあんしんサポートプレミアム会員にご加入いただく必要があります。

※3: セキュリティラウンジあんしんサポートプレミアム会員への加入については「セキュリティラウンジあんしんサポートについて」(P.34)をご覧ください。

故障かな?と思ったら

症状と原因	対 策
<p>☆勝手に警報が鳴る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインユニットの固定が不十分 ・電源線の接触不良 ・各センサーの感度が高すぎる ・衝撃センサーの感度が強すぎる 	<p>確実に固定してください。 電源線を確実に接続してください。 センサーの感度を絞ってください。 感度を絞ってください。</p>
<p>☆セキュリティを ON した後、数秒後に「ピッ」と鳴る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーレポート機能が働いている 	<p>詳細は P.18 を参照してください。</p>
<p>☆リモコンが利かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同調がずれている ・ラジオ局など無線局が近くにある ・アンテナを金属部に接続している ・リモコンの電池がない ・リモコンの電池の接触不良 ・バッテリーが弱っている ・水の浸入があった 	<p>再度リモコンの同調をしてください。 (取付販売店に依頼してください) *メインユニットの電源を何度か投入した場合に電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。 車の近くに寄って操作してください。 アンテナの固定箇所を変えてください。 新しい電池に交換してください。 電池を入れ直してください。 新しいバッテリーに交換してください。 お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。 *水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。</p>
<p>☆ドアを開けても警報が鳴らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムを ON してから 5 秒以上待っていない ・ドアトリガー線の接続不良 	<p>システムを ON してから 5 秒以上待ってください。 ドアトリガー線を確実に配線してください。</p>
<p>☆叩いても警報が鳴らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムを ON してから 5 秒以上待っていない ・車体を揺らしている ・感度が低すぎる ・メインユニットの固定位置が最適でない ・黄色線を常時電源に接続している 	<p>システムを ON してから 5 秒以上待ってください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 説明書通りに固定してください。 黄色線は必ず IG ON で +12V が供給される線に接続してください。</p>
<p>☆オプションセンサーが働かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムを ON してから 5 秒以上待っていない ・感度が低すぎる ・テスト方法が違っている ・黄色線を常時電源に接続している 	<p>システムを ON してから 5 秒以上待ってください。 感度を上げてください。 各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。 (オプション付属の説明書参照) 黄色線は必ず IG ON で +12V が供給される線に接続してください。</p>

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はお買い上げの日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用していただくサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
- ご登録いただきますと製品保証の延長や工賃代や製品代のサポートなどを受けることができます。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いいたします。詳しくは弊社HPよりご覧ください。 <https://shop-security-lounge.com/shopbrand/ct20>



保証書について

- 製品保証書は本書に添付しております。ご購入の際には大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。

修理を依頼されるときは

- 説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P.33)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店にご相談ください。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例：ホーネット728VIII 5012204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのセキュリティラウンジまたはホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様の負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 製品に関するお問い合わせはこちらから

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

https://www.kato-denki.com/form/form_solo/



製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約5mA（動作確認LED含む）
●平均消費電流（警報時）	約1A
●サイレン音圧	最大約128dB
●使用周囲温度	約-40℃～+85℃
●メインユニット外形寸法	約78×76×26mm
●質量	約67g（728VIII）

保証規定

《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご送付いただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外(有償)となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたはホーネット取扱店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外(有償)となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品(電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど)の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。